

「身近な存在になりました」

議員の皆さんが、私たち市民と直接話す機会を地域ごとに実施していると聞き夫婦で初めて参加してみました。

議会や議員の皆さんは、これまでは遠い存在との感覚でしたが、市民を交えて多くの意見交換をする姿勢を目の前にして、少し身近に感じました。

議会傍観に行くには、地域的に遠いこともあり、今後の議会中継を楽しみにしています。



鷺別地区

渡辺礼子さん

「市民が興味を持てる議会に」

市民のための議会ならば議員と市民の距離を縮める努力をおしまない事が大切だと思います。

また会派を超えて市民と膝詰で対話して頂きたい。議員は「開かれた議会をつくりたい」との意向のようですが、議会基本条例づくりは市民の目線に降りてつくるべき。

今後の希望としては、女性議員が増えてほしい。そのためには市民がサポートする仕組みも必要ではないかと思いました。



温泉地区

西野みわさん

「テーマ設定が大事」

毎回フォーラムに参加している石井さん。普段はあまり議員と話す機会が少ないので、フォーラムは市民や議員の色々な意見が聞けるので楽しみであるそうだ。最近参加者数が少ない様に感じるがテーマ設定を地域の話（北大分院跡地）や課題（医療費未請求）などに絞り、あまり難しいテーマ（議会基本条例）であれば参加者は減ると思われるので、今後はテーマ設定が大事であると話してくれました。



登別地区

石井利則さん

「もっと住民の中へ」

市民会館での議会フォーラムは、去年よりかなり参加者が少なくなりましたね。これはある意味で今後の方向性を地域に細かく出てゆくよう変更すべき、と指摘しているように私は感じます。フォーラム自体は良いと思いますが、これまで行われたフォーラムの成果も、市民に分かるように説明されているとは思えません。

議会自らが積極的に町内会等へ報告に来て、もっと住民のそばで意見を聞くという姿勢が欲しいですね。



幌別地区

川人文男さん

臨時議会

去る7月3日、平成21年第5回登別市議会臨時会が開かれ、各会計補正予算案など議案4件、諮問2件を原案通り可決しました。

議員提案で

報酬減額案を可決！

「登別市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正」案は、反対する1会派を除く6会派の代表者が提案をし、平成21年8月から平成23年4月の任期満了まで、議員報酬を月額1人あたり5千円減額するものです。

提案理由としては、「高額療養費の未請求問題に関する議会の対応として、調査に限界を覚えるも一定の姿勢を示すべき」などが挙げられました。

反対する議員から、改正理由などについて質疑がありましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

補正予算

各会計補正予算について、去る7月3日に審査を行いました。

一般会計補正予算では、国の「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」に対する活用事業の提出があり、主な質疑として

- ①各事業の選定理由について
 - ②のぞみ園における通園児の増加要因及び体制整備への考え方について
 - ③新型インフルエンザに対する今後の対応及び消毒液保管状況と設置場所の考え方について
 - ④緊急誘客特別対策事業における緊急性への考え方について
 - ⑤登別温泉における雇用状況及び補助事業に対する費用対効果と報告要件について
 - ⑥デジタルテレビ整備の考え方及びテレビ購入時の市内業者活用の考え方について
- などの質疑後、各会計とも全会一致で可決しました。